

## 町の特産品 2品完成

### 地酒「鏡の雫」お披露目会



1升2,478円、  
4合1,260円  
(各税込み)数量限  
定で町内酒蔵販売店  
にて販売中

ヴィライナワシロ山  
産特産米を原料とし、  
醸造技術の向上により、  
地元産の米粉・小麦粉・  
いちごを使用したパスタ



地元産のコシヒカリを100%使用した地酒「鏡の雫」のお披露目会は、3月3日(水)行われ、約120人が出席しました。始めに、木崎町長が「皆さんにご協力いただき地酒をアピールしていただきたいです」とあいさつ。鏡開きも行われ、町の特産品として期待が高まる鏡の雫の販売が始まりました。また、町商工会女性部(仲沼登美子部長)が特産品として開発した「いち米パスタ・マッシュルームソース」の紹介も合わせて行われ、参加者はできたてのパスタに舌鼓をうちました。

## 献血100回の実績で表彰 = 柳沼さん金色有功章受賞 =



▲金色ガラス杯の贈呈を受け笑顔の柳沼さん

柳沼信夫さん(鏡沼)は、100回の献血実績により、日本赤十字社の献血表彰として「金色有功章」を受賞されました。柳沼さんは、昭和40年頃から献血を始め昨年12月に100回目の献血をされました。日本赤十字社から表彰状とガラス杯が贈呈されました。「健康なうちは続けていきたいですね」と話していました。

柳沼信夫さん(鏡沼)は、100回の献血実績により、日本赤十字社の献血表彰として「金色有功章」を受賞されました。柳沼さんは、昭和40年頃から献血を始め昨年12月に100回目の献血をされました。日本赤十字社から表彰状とガラス杯が贈呈されました。「健康なうちは続けていきたいですね」と話していました。

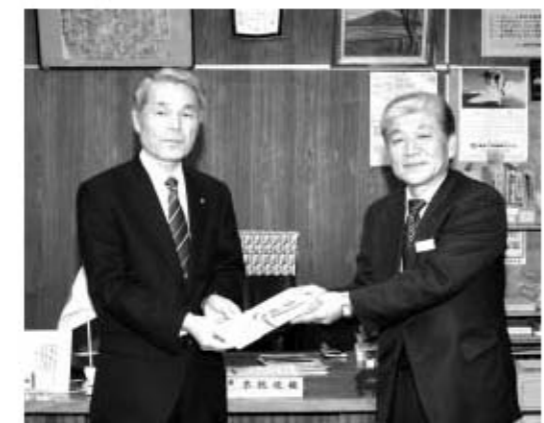
## 鏡石MBboysが優勝の栄冠 = 県ミニバス新人大会 =

第12回県ミニバスケットボール新人大会が3月6日(土)、7日(日)鏡石町立第一小学校体育館などを会場に行われ、県内の各地区を勝ち抜いた16チームが出場しました。鏡石MBboysスポーツ少年団(小野寺孝治コーチ)は、並み居る強豪を抑え、見事優勝の栄冠に輝きました。



▲優勝を喜び選手一同

## 東北電力が町に寄贈 = 防犯灯自動点滅器贈呈式 =



▲木崎町長に目録を手渡す井戸川所長(写真右)

力が10基分の点滅器を無償で修繕するものです。

東北電力須賀川営業所の防犯灯自動点滅器贈呈式は、3月1日(月)町長室で行われました。当日は、井戸川節夫所長、八木勝美副所長が来庁されました。点滅器は、明るさを感知して防犯灯のスイッチをつけたり消したりするものです。今回の贈呈の内容は、東北電力が10基分の点滅器を無償で修繕するものです。



▲熊田校長から卒業証書を授与される生徒(写真左)

## 鏡 中生140人が義務教育を終了

= 町立中学校卒業証書授与式 =

町立鏡石中学校(熊田一郎校長)の卒業証書授与式は、3月12日(金)同校体育館で挙行されました。初めに熊田校長が「それぞれの道路で活躍されることを期待します」と式辞を述べられました。今年度の卒業生は140人です。卒業後は、進学する生徒や、一足先に社会に出る生徒と道路は異なりますが、鏡中での思い出を胸に、一斉に次へのステップを踏み出すことになります。

## まちの話題



沖縄県北谷町のスポーツ少年団友好交流団24人は、スキー体験や鏡石町スポーツ少年団との交流のため、2月25日(木)から3月1日(月)までの5日間の日程で来町しました。26日(金)には、役場を表彰訪問しました。また、28日(日)には、鏡石町スポーツ少年団と交流会が行われ、子どもたちは、カローリングやインディアカを楽しみ交流を深めました。

## 子どもの交流を深める

= 沖縄県北谷町スポーツ少年団 =



▲鏡石町体育館でインディアカを楽しむ子どもたち

## 新町一環防町間1.2キロ開通

= 成田バイパス開通式 =

県道須賀川・矢吹線の成田バイパス開通式は、3月19日(金)成田構造改善センターで行われ、関係者や区民などが出席しました。開通式では、県土木部長の根本博行技監、木崎町長などがテープカットとくす玉割りで行われ、開通を祝いました。開通を記念して根本現太郎さん3世代夫婦が渡り初めをしました。成田バイパスは、平成17年度から工事が進められ、新町から諏訪町間の約1.2キロが開通しました。このバイパスの完成で幅員が6mに拡張され、大型車の通行がスムーズになります。



▲テープカットする関係者